

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は7月25日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

日本家族療法学会 第40回福岡大会 (ハイブリッド開催)

日時 9月16日(土)～18日(月・祝)

開催形式 現地開催、オンデマンド配信(9月18日～10月8日)

会場 福岡国際会議場(福岡県福岡市博多区)

プログラム 大会長講演「家族療法をもっと身近なものに」児島達美(本学会会長、KPCCL代表)／特別講演1「人生100年時代の家族のかたち」山田昌弘(日本家族社会学会会長、中央大学教授)／2「家族療法と国際交流」この4年とこれから」田村毅(田村毅こころの診療所)／シンポジウム1「家族療法・ブリーフセラピーにおける」とばと会話」津川秀夫(吉備国際大学)、黒沢幸子(目白大学)、坂本真佐哉(神戸松蔭女子学院大学)、斎藤環(筑波大学)／2「チーム」や「連携」が自律的・機能的となるための支援——システムズアプローチの観点から」浅野久木(刈谷病院)、高林学(龍谷大学)、児玉久仁子(東京慈恵会医科大学)、吉川悟(龍谷大学)／3「家族療法モデルによるスー

パーヴィジョンが目指すもの」石井千賀子(石井家族療法研究室)、小笠原知子(金沢大学)、中野真也(国際医療福祉大学)、中村伸一(中村心理療法研究室)／4「家族心理教育の現在地——精神疾患という経験をどう理解し、どう支援するか？」伊藤順一郎(メンタルヘルス診療所しつばふぁーれ)、岡田久実子(みんなネット)、渡邊真里子(ちはやACTクリニック)、福井里江(東京学芸大学)／5「法制度と家族支援——被害者と加害者の狭間で」廣井亮一(立命館大学)、久保健二(福岡市立子ども総合相談センター)、中田慶子(DV防止ながさき)、国重浩一(ナラティブ実践協働研究センター)／6「赤ちゃん和家族——周産期医療の進歩による光と影後藤清恵(国立病院機構新潟病院臨床研究部)、近藤達郎(みさかえの園総合発達医療福祉センター)、宮田郁(大阪医科大学看護学部)／座談セッション「日本に家族療法が登場してきた時」野村直樹(名古屋市立大学)、遊佐安一郎(長谷川メンタルヘルス研究所)／2「ワークシヨップ」家族療法入門」東豊(龍谷大学)定員なし／「ロールプレイによる家族面接演習」中村伸一(中村心理療法研究室)、

北島歩美(日本女子大学)、宮崎愛(児童家庭支援センターパラソル)、岩井昌也(錦糸町コボタクリニック)定員40名、会員のみの「保護者支援と教職員支援の実践的演習」システムズ・コンサルテーションを身につける」吉川悟(龍谷大学)定員なし／「うまくいかなかった二人に取り組むナラティブ・アプローチ」国重浩一(ナラティブ実践協働研究センター)／「BPSモデルのケースマネジメント——家族のアセスメントを支援に活かす」近藤直司(大正大学)定員40名／「ソーシャルワークと家族療法」福山和女(ルーテル学院大学)／「児童虐待対応——家族療法を応用する」と何が起きるか」中垣真通(子どもの虹情報研修センター)、三木馨(西日本こども研修センターあかし)、加藤俊造(新潟県南魚沼児童相談所)、山中博喜(静岡県中央児童相談所)定員40名／「在宅医療における家族支援」若林英樹(三重大学総合診療部、名張地域医療学講座)、宮本佑達(ひまわりクリニック)、名古屋大学大学院医学系研究科博士課程、山田宇以(聖路加国際病院心療内科)、永嶋有希子(台前メディカルクリニック)、滋賀家庭医療学センター)、渡辺俊之(渡辺医院、高崎西口精神療法研修室)定員約30名

事前申込締切「オンデマンド配信」9月9日(土)
申込方法「オンデマンド配信」左記URLの参加登録フォームより
<https://fukuoka2023.jaft.org/on-demand/>

参加費「当日」会員1万円、非会員1万1000円、学生6000円、ワークシヨップ…会員9000円、非会員1万円、学生6000円

「オンデマンド配信」参加費…会員9000円、非会員1万円、学生5000円

株式会社JTB福岡支店営業第4課

〒810-0007

福岡県福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル3階

☎092-7112-6142

✉fukuoka_amays@jtb.com

<https://fukuoka2023.jaft.org/>

全国訪問看護事業協会 令和5年度研修会 (Web開催)

◎第3回精神科訪問看護研修会——精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会

募集期間 10月2日(月)～11月15日(水)

オンデマンド配信 11月21日(火)

2024年2月29日(木)

ライブ配信 (いずれか1日を選

択。各日定員100名) 12月16日

(土)、2024年1月27日(土)、

2月17日(土)

受講料 会員1万5000円、非

会員2万5000円

対象 訪問看護ステーションの精

神科訪問看護に従事する保健師・

看護師・准看護師・作業療法士

定員 300名

概要 「オンデマンド」【19時間22

分】精神科訪問看護の実際(利用

者との信頼関係構築、対人関係の

援助、日常生活の援助、症状悪化

の早期発見、危機介入、医療継続

の支援、精神科リハビリテーショ

ンの概念と実際、精神障害者の理

解・精神科疾患における薬物療

法、保健・医療サービス提供シス

テム、精神科訪問看護の理解とア

セスメント、看護職のGAF評

価「ライブ」【3時間30分】GAF

評価の実際、地域のチームで支え

るための事例検討の進め方、事例

検討(グループワークおよび全体

発表)

◎第2回訪問看護ターミナルケ

集中講座——訪問看護が支える

在宅ターミナルケア

募集期間 10月2日(月)〜11月15

日(水)

オンデマンド配信 11月21日(火)

2024年2月25日(日)

ライブ配信 2024年1月20日

(土)

受講料 会員2万5000円、非

会員4万5000円

対象 訪問看護に従事する看護師

等

定員 70名

概要 「オンデマンド」【18時間30

分】在宅ターミナルケアの考え方

と取り巻く法的知識、プロセスと

ケアのポイント、がん治療の現状

と動向、看取りにおける医師との

連携、在宅ホスピス緩和ケアの実

際、病院以外での相談支援の実践、

退院支援の進め方と実際、疼痛コ

ントロールの理論と実際、症状緩

和の実際、臨死期のケアと専門職

が行うエンゼルケア、「ライブ」

【2時間15分】事例検討(意思決定

支援の実際)

◎第2回訪問看護におけるリスク

マネジメント——利用者とス

タッフと事業所を守る

募集期間 11月1日(水)〜12月15

日(金)

オンデマンド配信 12月21日(木)

2024年2月25日(日)

受講料 会員1万7000円、非

会員2万6000円

対象 訪問看護に従事する看護師

等

定員 上限なし

概要 「オンデマンド」【15時間】

訪問看護における法的責任、訪問

看護事業所におけるハラスメント

対策、訪問看護に求められる医療

安全、リスクマネジメントの実際、

インシデントレポートの分析・活

用法等、訪問看護ステーションに

おけるBCP(業務継続計画)

【以下共通】

◎全国訪問看護事業協会

03-3351-5898

03-3351-5938

webseminar@zenhokan.or.jp

https://www.zenhokan.or.jp

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会

全国大会in仙台

(ハイブリッド開催)

日時 10月28日(土)〜29日(日)

開催形式 現地開催、オンデマン

ド配信

会場 仙台市戦災復興記念館(宮

城県仙台市)

メインテーマ おらあ、ここで最

期までいきてえ——情けぶけえ

コミュニティをめざして

プログラム メイン企画「com-

passionate communityについて」

アラン・ケレハー博士(「コンパッ

ション都市」提唱者、米国バーモ

ント大学臨床教授)、エマ・ホッ

ジス博士(Compassionate Com-

munities UK開発担当理事)/メ

インシンポジウム「東日本大震災

から12年——未来に向けて伝え

たいこと」坂口奈央(岩手大学准

教授)、北村暁秀(曹洞宗法山寺

住職)、嶋原さとこ(NPO虹色

たんばば代表)、鈴木聡(石巻赤

十字病院副院長)/市民公開講座

「生きる力を引き出す——ホーム

ホスピス」市原美穂(全国ホーム

ホスピス協会代表)、今野まゆみ

(ホームホスピスにじろのいえ

代表)、千葉明日香(仙台往診ク

リニック副院長)、古林俊晃(認

定臨床宗教師)/特別シンポジウ

ム「2023みやぎから——未来へ

つなぐ想いを見つめて——地域

とともに歩む医師たちの勇気と決

意、奥野修司(ジャーナリスト)、

川村雄次(NHKディレクター)、

三浦正悦(穂波の郷クリニック)

／一般企画「市民公開講座はか

事前参加登録」9月30日(土)

参加費 「事前(オンデマンド視

聴含む)」会員4000円、非会

員5000円、「当日以後(オンデ

マンド視聴含む)」会員5000

円、非会員6000円、学生

2000円

事前登録方法 左記URLの参加

登録フォームより

◎東北大学大学院文学研究科死

生学・実践宗教学専攻分野内

sh30_senda@gmail.com

https://sh.jindosite.com/

訪問看護サミット

2023

日時 11月11日(土)13:00〜17:00

開催形式 Zoomによる配信(ラ

イブ配信+アーカイブ配信)

テーマ 自由で豊かな共生社会の

構築——訪問看護の力をどう発

揮するか

プログラム 特別講演「誰にも優

しいユニバーサルデザイン——

心の目線を合わせる」星川安之公

益財団法人共用品推進機構専務理

事)／対談「誰もが安心して認知

症になれる社会を目指して」丹野

智文(おれんじドア実行委員会代

表、一般社団法人認知症当事者

ネットワークみやぎ代表理事)、

山国秀幸(株式会社ワンダーラポ

ラトリ代取締役、映画「オレン

ジ・ランプ」原作・脚本映画プロ

デューサー)／教育講演「産学官

民でのフレイル予防のあれこれ」

飯島勝矢(東京大学高齢社会総合

研究機構機構長、未来ビジョン研

究センター教授)／鼎談「地域ぐ

るみの支えあい、健やかに生き

安らかに逝く」平野智子(NPO

法人訪問看護ステーションコスモ

ス所長)、吉江悟(一般社団法人

Neighborhood Care代表理事、

ビュートソルフ柏、平原優美(公

益財団法人日本訪問看護財団常務

理事)

参加料 30000円(資料・送料込)
事前参加申込締切 10月18日(水)
申込方法 左記URLの参加登録
フォームより

<https://www.jvntf.or.jp/summit2023/entry.html>

問 事務局

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-18-2

日本看護協会ビル5階

☎ 03-5778-7001

<https://www.jvntf.or.jp/summit2023/index.html>

第13回日本在宅看護学
会学術集会(ハイブリッ
ド開催)

日時 11月18日(土)～19日(日)

開催形式 現地開催(ライブ配信)、
オンデマンド配信(11月10日～12
月19日)(予定)

会場 クロス・ウェーブ船橋(千葉
県船橋市)

テーマ 在宅看護、すぐそばに在
る

プログラム 学術集会長講演/教
育講演/ランチョンセミナー/シ
ンポジウム/一般演題発表/交流
集会/市民公開講座ほか

前期登録期限 8月31日(木)

後期登録期間 9月1日(金)～12
月17日(日)

参加費 [前期]会員8000円、

非会員1万円、大学院生/ブレス

3000円、学生(基礎教育課程)

1000円、[後期]会員1万円、

非会員1万2000円、大学院生

/ブレス3000円、学生(基礎
教育課程)1000円

参加登録方法 左記Webサイト
の申込ページより

<https://13th.jahnc.jp/>

問 学術集会事務局

東京医療保健大学千葉看護学部
清水準一研究室

T273-8710

千葉県船橋市海神町西1-
1042-2

✉ officer3@13th.jahnc.jp

愛知県看護協会訪問看
護認定看護師教育課程
令和6年度受講者募集

出願期間 10月18日(水)～31日
(火)

試験日 11月20日(月)

教育期間 2024年5月1日
(月)～2025年3月21日(金)

[講義]金・土(5～10月中旬)

[演習]木・金・土(10月中旬～1
月中旬)

[実習]月～金(1月中旬～2月中
旬)

※仕事を継続しながら受講可能
定員 15名

入試情報 詳細は愛知県看護協会

Webサイト参照

<https://www.aichi-kangokyokai.or.jp/publics/index/184/>

問 愛知県看護協会教育センター

☎ 052-871-0761

✉ aikan-houmon@aichi-kango
kyokai.or.jp(教育課程担当課)